Motol hospital での 短期留学報告

研修医 2年目 森岡久美子

チェコ共和国って?



▶ 東ヨーロッパの内陸国

▶ 面積:7.9万km2 (日本国土の約5分の1)

▶ 人口:1070万人(東京都の人口とほぼ同数)

▶ 言語:チェコ語

▶ 名産品:ビール、ガラス細工





チェコでの生活~寮~

- ・プラハ城から10分の好立地
- ・個室 寮代 1か月4万円 (チャールズ大学留学生、他職員等も入寮可)
- トイレ・キッチン・シャワー共用
- ・病院からバスで10分の距離



チェコでの生活~食事~







職員用食堂 300-500 円とかなりお得

チェコでの生活~外食~







牛肉のグラーシュと スペアリブビール煮込み

Motol hospital

- ▶ Charles 大学第2医学部附属病院
- ▶ 約2400床を有するチェコ最大の病院 うち800床が小児科病棟と国内でも最大級の子供病院







Pediatric nephrology department

- ・小児先天性腎・尿路系疾患を中心に急性腎不全・腎移植後管理・高血圧管理などを行う。
- ・19歳以下の腎移植はチェコ国内でMotol hospitalのみで行われており腎移植後急性期管理はすべて行われている。
- ・外来では小児維持透析を行っている。





病棟メンバー



部長: Dr jakub









プラハ市内観光

研修の1日の流れ

- ▶ 7:30~morning conference (夜勤→日勤引継ぎ)(火、木のみ7:45~画像カンファレンス)木曜日は病棟総回診
- ▶ 12:45~conference (夜勤→日勤引継ぎ) 腎臓内科内でのconference
- ▶ 16:00勤務終了

くその他>

外来

気管支鏡、消化管内視鏡、ドレーン挿入、超音波検査

経験症例

- ▶ 17歳 腎移植後(2024/01/17)術後管理
- ▶ 2歳 二分脊椎術後
- ▶ 5歳 インフルエンザ後肺炎
- ▶ 1歳 抗糸球体基底膜腎炎 免疫吸着療法後 気管支鏡施行
- ▶ 10か月 先天性後部尿道弁 術後 CKD stage5
- ▶ 3歳 腎移植後 RSウイルス感染
- ▶ 6歳 ネフローゼ症候群 リツキシマブ投与目的
- ▶ 3歳 a HUS
- ▶ 3歳 prune-belly syndrome 感染症疑い
- ▶ 3歳 複雑型熱性けいれん

研修を通して

- ・病棟では小児腎臓病を中心に小児科領域の疾患を幅広く見学することができた。
- ・中でも腎移植後の急性期管理や経過を見学するのは初めてだったため貴重 な経験となった。
- ・小児病院ならではの専門性の高い検査(気管支鏡・消化管内視鏡)も多数 見学することができた。
- ・日本との違いとして、患者さんや家族との距離間が近い印象を感じた。
- ・多くの医師が英語が堪能で丁寧に病態を説明していただいたが、知らない 医療英語も多く改めて医療英語を勉強することの重要性を感じた。
- ・海外の医師の働き方やワークライフバランスを知ることができた。

週末の観光















謝辞

- ▶ 最後になりましたが、今回このような素晴らしい機会を与えていただいた ことに心より感謝申し上げます。
- ▶ 卒後臨床研修センター北野教授、神人教授、有本さん、国際交流センター林さん、をはじめ、チャールズ大学でご指導頂いた先生方、秘書さん、本当にたくさん助けてもらったチェコの友人たちなど、お世話になった多くの皆様、本当にありがとうございました。